



札幌ドーム野球用人工芝 更新完了および使用開始について

3月2日(日)開催 プロ野球オープン戦より、野球イベントでの使用を開始します

株式会社札幌ドーム(以下当社)は、当社所有の野球用人工芝の全面更新を実施し、このたび作業が完了いたしました。3月2日(日)開催 プロ野球オープン戦より、野球イベントでの使用を開始いたします。

1. プロ野球イベントでの使用開始日

3月2日(土)開催 プロ野球オープン戦 北海道日本ハムファイターズ vs 東京ヤクルトスワローズ

※去る2月9日(土)~11日(月・祝)の3日間で開催されたイベント「コンサドーレカップ2013 第13回 全道市町村サッカーフェスティバル」では、新たな人工芝を初めて使用し、品質および運用面での問題が無いことを確認いたしました。

2. 新たな人工芝の仕様

商品名	グラントーフ NEW GTB-16S 2(大塚ターフテック株式会社製)	
購入価格	約3.6億円	
総面積	約16,800㎡(予備の人工芝などを含む)	
枚数	巻き取り式のため、約200枚に分割されています ※1枚あたり(幅)約4m×(長さ)最大約40m	
重量	11.5 kg/㎡	
材質	芝(パイル)	ポリ塩化ビニリデン 芝丈26mm(芝毛が長く、カールしている)
	アンダーパッド	発泡軟質塩化ビニル 厚さ16mm(連続半球形状)

※2005年2月より使用したこれまでの人工芝(以下旧人工芝)と、仕様の変更はありません。

3. 購入資金

当社の施設保全設備更新積立金(※1)を取り崩すことにより、自己資金にて購入しました。

(※1)施設保全設備更新積立金とは

中長期的な施設の維持保全や設備更新に係る当社応分の費用負担に備えるための任意積立金です。当社の各年度決算の剰余金の処分として2005年度より計上を開始しており、今回の取り崩し後の累計金額は約9.8億円となります。

4. その他の特徴

各塁ベース周辺など、劣化が進みやすい部分の人工芝を2セット製作し、交互に使用することで、良好なコンディションをより長く保てるようにしました。

5. 旧人工芝の処分・再利用について

他施設等での有効活用を目的として旧人工芝の売却先を募集した結果、民間企業2社との有償売却が成立しました。また、札幌ドームのブルペンおよび一部はスポーツ振興を目的として札幌市円山球場をはじめとする札幌市内のスポーツ施設などに無償譲渡して再利用することとし、劣化により再利用できない残り部分は廃棄処分いたしました。

※売却・譲渡先、および売却金額については非公表となります。